

コロナ禍のほっとニュース特集

島根支部長 清水泉州氏の水墨画「松韻」 江津市役所新本庁舎に寄贈

梅の花が咲き自然は何時も通りですが、世界的に新型コロナウイルスがまん延して大変な事態と云えます。この試練を乗り越えるためにも自身の心の糧・生きた証を今こそ見直す時だと感じています。

私達の住む江津市は人口二四、〇〇〇人の街で山、川、海と自然豊かな土地柄です。

江津市の市役所は、利便性のよい場所に新本庁舎として建て替わりました。市役所の新設に合わせて、支部長清水泉州氏の水墨画「松韻」が江津市役所に寄贈されました。



寄贈された「松韻」と清水支部長

江津市を象徴するのは黒松です。黒松の、日本的な美しさ、たくましい生命力、四季を通して吹くまろやかな風の音が感じられる空間を、鮮やかな濃淡で表現しました。

委員 清水泉州

江津市民の馴染みのある黒松が描かれている立派な水墨画です。

清水泉州氏(九四歳)は現在も現役で自身の作品造りをされる一方で、地元江津市はもちろん近隣の太田市や浜田市等に教室を持ち、指導者としての活動も精力的にされておられます。

訪問者や市民の皆さんの明るい話題で喜んでもらっています。

今年も成功を祈ります。

委員 田中俊暁

支部だより
さきたま支部展を終えて
支部長 住佐 美紗子

今年もさきたま支部展をやったネ、やれてよかった！三月九日から一三日まで氷川の杜文化館で開催しました。

三年近く前から、コロナで世の中、すっかり様子が変わり、展覧会どころではない空気が広がっていました。でも感染者数を心配しながら休まず続けられました。今年には体調不良で三人が出品出来ないと言ってきた、そこで友人、知人に誘いをかけ四名の方に参加頂き、昨年より明るく、充実したように感じました。

他支部宛てに案内を出さなかつたのに、大勢の観客を迎え、とても嬉しかったです。出品された皆さん方に協力して頂き、それで楽しい展覧会になりました。

大宮公園と氷川神社は梅の盛りで良い香りと、期間中は天気に恵まれ、散歩中のフリーの客も多かつたようでした。

支部展をやらないうところが多いですが、心配してなくて、まずやってみてはどうでしょうか。

埼玉西支部の小高さん、花田さん、神奈川支部の高岩さん、

東京支部の早田さん、篠さん、東京東支部の土屋さん、埼玉東支部の北條さん、千葉支部の石原さんなどなど、委員会で顔を合わせる方々が来て下さいました。感謝しています。

これから支部展を開催されたら、是非伺いたいと思います。



コロナ禍にもかかわらず盛会でした

編集後記

長引くコロナ禍を打ち砕く、明るく楽しいニュースが沢山寄せられました。

- 「新宿御苑に惚れ込んで」
- 「旅から生まれた作品群」
- 「蠢く芸術に圧倒されて」
- 「アトリエは近隣の憩いの場」
- 「蘇った母の着物」
- 「寄贈で街をさらに明るく」
- 「率先して支部展開催を・・・」

2022.5.1 担当 石原 修